

平成29年度市政懇談会記録調書

対象地区	勝田三中学区
日 時	平成29年6月24日(土)午後1時30分～午後3時00分
場 所	前渡コミュニティセンター
参加人数	18名

内 容 (要旨, 発言, 集約事項等)

事前質問

1. 東海第二原発再稼働について (市民生活部)
2. カーブミラーの設置等要望方法について (市民生活部)

懇談質問

1. 東海第二原発の再稼働について (市民生活部)
2. 花しょうぶ園の駐車場と交通誘導員について (都市整備部)
3. 浸水被害の解消について (要望)
4. 昭和通りのガードレール設置について (要望)

市長の講評

◇事前質問 1（東海第二原発再稼働について）

安全協定の見直しについて

- ・ 現行の協定とは別の新安全協定（案）はどのような内容で、まだ不十分なものなのか詳細に説明をお願いしたい。

■市民生活部長

安全協定見直しにかかわる日本原電の対応につきましては、去る3月24日に開催されました原子力所在地域首長懇談会において、原子力安全協定の見直しに関する回答が示されたところであり、その内容は、東海第二発電所の新規制基準適合に伴う稼働及び延長運転に当たり、現安全協定の東海村を所在自治体とする枠組みは変えずに、懇談会を構成する6市村と日本原電との間で別に協定を結ぶという案でございました。

この協定書の中では、6市村同等の権限として、安全協定の内容等について事前説明及び意見交換をすること、合意形成を図るための協議会の開催を求めることができること、協議会での議論の結果、事業者である日本原電は適切な対応を講ずることなどが示されました。しかしながら、案で示された協議会における合意形成が、これまで首長懇談会が求めてきた再稼働の可否判断にかかわる事前了解の権限の担保となるかどうかは明確ではないため、この案について容認することができないということで6市村の首長の考えが一致したところであります。そのため、6市村の総意といたしまして、解釈のずれが生じないように、事前了解の権限を担保する表現とすることを日本原電に再度求めたところであります。

なお、今後の対応につきましては、延長運転審査の申請期間が平成29年8月から11月までとされていることから、県や地元自治体に発電所の今後にかかわる判断を求めるときの前までにとしている、先に交わした覚書における安全協定の見直し時期は、延長運転審査申請前、遅くとも申請期間内の早い時期と受けとめております。引き続き日本原電の誠意ある早期の対応を求めながら、6市村連携のもと、本市が東海村と同様の原子力所在地域の自治体として意見を反映させることができるよう安全協定見直しの実現に努めてまいります。

◇事前質問 2（カーブミラーの設置等要望の方法について）

最近、自治会を通さず直接市役所などに要望し、自治会役員が知らない間にカーブミラー等が設置される事例が増えてきている。自治会は行政との窓口として市政の一端を担っているの、市民からの直接の要望に関しては、自治会への相談を促すか、受けた場合には情報を自治会に伝達してほしい。

■市民生活部長

現在、カーブミラーや道路標示等の要望の方法につきましては、市役所生活安全課の窓口にて場所や現状の確認を行いながら受け付けております。多くは、自治会長や自治会役員の方が来庁し、設置について要望されていきますが、中には市民の方が直接要望してくるケースもあります。カーブミラー等の設置に関しましては、生活安全課で受け付けし、現地確認を行い、審査後に道路管理課に依頼をかけ、優先順位ごとに予算の範囲内で設置しているものです。自治会からの要望も、市民からの直接の要望も同じように受け付けていることから、ご意見にありました窓口での自治会を通してほしい、自治会に相談してほしいとの事前の声かけは非常に難しいものと考えております。しかしながら、地域内において新規の施設設置等について自治会長が把握することは必要であると考えておりますので、今後は市民からの直接の要望に関しまして、設置が決まり次第、自治会長へ連絡を差し上げたいと思っております。

◇懇談質問 1（東海第二原発の再稼働について）

東海第二原発の再稼働についての話があったが、市長も参加した首長会での話は、まだ完全に県とか東海村と同等の権限を持つようにはなっていないので、再稼働の可否について議論に参加できないということなのか。詳しく伺いたい。

■市民生活部長

再稼働の申請の時期と、現在、首長懇談会で求めている安全協定の見直しは、あくまでも東海第二原発があることに対する安全協定の権限関係が書かれています。再稼働あるいは増設等を含めた変更がある場合には、今は事前にその話し合いのできる権限が茨城県と東海村しかないということで、6市村の隣接の首長が同等の権限を求めています。時期についても早期にということで、先ほど時期を申し上げたのは、再稼働申請の時期が8月から11月ぐらいにかけてが、ぎりぎりのラインという中で、11月までのできるだけ早い時期に今回市でも求めております安全協定の見直しを求めたいということで今、首長は動いています。

◇懇談質問 2（花しょうぶ園の駐車場と交通誘導員について）

本年度の花しょうぶ園まっりの来園者は、4日間で3,700名の方が来園されたが、整備されている駐車場が舗装されているところが10台、未舗装のところも10台と25台の合計で45台のスペースしかない。今回のように大量の来園者が来た場合に、1台に3人乗ったとしても1,000台ぐらいの車が来たという計算になり駐車場のスペースに問題がある。

また、交通の整理を社協の弥生西谷津支部で、大体10人ぐらいで行ってい

るが、素人なのでプロの交通誘導の警備員が必要ではないか。来年度は、予算措置して欲しい。

■都市整備部長

花しょうぶ園については、いわゆる交通誘導を地元の方でやっていただき、本当にありがとうございます。事故もなく本当によかったと思っております。

まず、駐車場の問題ですが、確かに現場は非常に駐車場の台数が限られているということです。こういった機会を含めて今後は、はにわ公園の東側に、向野中央公園という計画する公園があります。しかし、公園の整備が先なものですから、そういった公園のスペースを使って、駐車場というものを確保していると考えています。

そして、交通の誘導に関する話ですが、やはり限界があるというお話をいただきまして、そのとおりだと思います。これらについては社協とも調整して、来年度は、専門の方で誘導できる予算措置についても検討させていただきます。

◇懇談質問3（浸水被害の解消について（要望））

豪雨から市民を守る緊急治水計画の説明があったが、足崎団地もご承知のとおり、本郷川雨水1号幹線が流れている。この排水路は行きどまりになっており、一時、西原グラウンドの下へ入って、本郷川雨水1号線に流れるが、実際の排水路は何の役目も果たしていない。去年のゲリラ豪雨時に冠水があったことから心配であり、この趣旨には浸水被害の解消等を目的とすることと、効率的で効果的な整備を目指すことになっているので、この辺りを考えながらお願いしたい。

◇懇談質問4（昭和通りのガードレール設置について（要望））

弥生西谷津と本郷台自治会に居住する小学生の通学路の安全という点で、昭和通りには、まだガードレールを設置していないところがあるので設置をお願いしたい。

◇市長の講評

あらかじめいただいたご意見、それからまた本日いただいたご質問やご確認には誠実に対応させていただきたいと思っております。

特に馬渡自治会がおっしゃられた自治会として組、班があつて、地域のことは網羅的に対応されているということだと思います。したがって、先ほどカーブミラーの件につきましても、設置が何か決まってからお話しするのではなくて、まず要望があつた時点で情報共有をさせていただければと思います。もしかしたら、それよりもう少し優先するところが実はあるのでは

ないとか、ここも一緒にやったほうがいいのではないかということは当然考えられますので、そのように対応をさせていただきたいと思えます。

個人のそれぞれのご要望や気づきについては、当然市としてもお受けするわけですが、それを実行する際にどうするかということは、これはやはり我々は自治会や地域の皆さま方としっかりと役割を分担させていただきながらまちづくりを進めているという観点からしますと、安心安全はこの地域の大きな課題でありますから、そのように取り組ませていただきたいと思います。

それと、冒頭にちょっと触れる時間がなく、少しカットをさせていただいたわけですが、このひたちなか地区の土地利用、先ほど馬渡の自治会長から多目的広場について御礼の言葉をいただいて恐縮しているのですが、きっかけは長砂に公園があって、何で馬渡にないのかと何年前に言われたのが私はどうしても忘れられない。どこか場所がないかなと思ってたのも一つなのです。だから、日頃そういうご意見をいただくと、ああ、そうだというふうにつながる例だったかなと思えます。

ご存じの方も多いたと思いますが、あそこの46番地は財務省の管理なのです。国の土地なのですが、コストコが進出をしてきたときに、あれは県有地ですが、ちょっとばたばたと物事が進んでしましまして、やはり商工会議所にしても、地域とのいろんな意見も聞いてもらいたい、調整してもらいたいということがありましたので、それだったら地元の土地利用についてどう利用したいのか、どう活用したいのかと、だったら買ってくれるのかということも究極的にはあるような気はしますが、国から言われておまして、市ではこの土地活用について国のほうに提案をし、一部活用させていただいているというのが今の状況であります。46番地については、39ヘクタールちょっとですが、12ヘクタールを多目的広場、駐車場に今活用をしております。これも以前は一部貸してもらいたいと、今のような利用目的で貸してもらいたいと申し出たことはあるのですが、売却する土地なので、そういう用地はありませんと、かなりけんもほろろになっていたのが、地元からやはり少し調整をすべきではないかと、大型店の進出がきっかけだったのですが、そういうことで今後もあの残りの面積もかなりありますので、市で一遍に買ってくれと言われてもなかなか大変なのですが、その活用を皆さま方のまたご意見もいただき、ちょっとご提案をさせていただきながら、例えば議会だとか、そういう中でももうちょっと若い人たちが勉強できる場とか、人材養成とか、今ここ医療関係者が少ないので、そういうものはできないとか、そういった活用もあるのではないかとされています。

ただ、新たな大学の学部の新設というのを連日放送されているように、なかなか難しい。原則論でいくと医学部なんていうのは新たにできないと言わ

れているのです。そこはそうでなく、この地域は、非常にお医者さんが少ないわけですから、何とかすべきではないかという考え方は引き続きあるわけでありまして、46番地に限るわけではありませんが、ご意見等を賜ればと思います。

それと、やはり交通量が多くなっているというふうに思うのですが、SUBARUの完成自動車の積み出しがもう始まっています、今、月間1万台程度であります、ピーク時には月間2万台ぐらいになる予定であります。そのために新しい岸壁をもう一岸壁バースつくる工事が始まりましたが、これだけ急ピッチに港の整備されている地方港湾は、かなり珍しいのであります、そういうことから、あの港の利活用も私はこの常陸那珂港の振興協会の会長もさせていただいておりますが、皆さま方にはいろいろご迷惑もかけるかもしれませんが、もう少し荷物も増やして、船便も増やしたいという活動を市としても県としっかり連携してやっています。

今、韓国の南星海運のコンテナ船がこの4月から週3便になりました。今まで1便だった。中国、韓国へ行くルートであります、そういう意味では韓国の船もここをかなり重視していただいているのは、北関東自動車道がつながっていて、圏央道もできたことから、非常にここを物流の拠点として絶好であるということで活用をされているところでありますし、また飛鳥Ⅱも9月と10月にまた寄港をします。今回は土曜日ではないので、1万8,000人まではちょっと無理だとは思いますが、昨日も話題になったのですが、ぜひ乗船もしていただきたいという、そうするともっとも寄ってくるのではないかとということでありまして、ルートはここから横浜に行く1泊か、この前の寄港地の仙台からここに来るまでの1泊とか、そういうのも結構でありますので、ここで乗りおりにしていただくと、またますますそういう寄港のチャンスが増えるのではないかなと思っております。

それから、あの海浜公園につきましては、これも冒頭に申し上げましたが、ネモフィラであれだけのにぎわいになり、これからまたコキアということがありますが、非常に交通渋滞等厳しいところもありますし、地元の方も含めて、もうちょっとここに集中しないように、ちょっと別なところで、例えば公共交通、バスに乗り換えるとか、鉄道に乗り換えるというような、そんなことをやったらどうかということも提案をされております。その中で道の駅という機能もあってもいいのではないかとというようなこともご提案いただいている点もありますので、かなり具体化をしていければとは思っております。場所的にはこの国道245号に関連するところが一つの候補地になると思っておりますが、そういう意味では、この三中地区のあたり、馬渡の地区は非常に物の動きや人の動きが活発なところでもありますので、皆さま方にもまたご理解や、ご提案もぜひいただきたいと思っておりますし、湊線の延伸についても3

キロちょっとであるわけでありますから、そのぐらいの道路を延ばすという事業は、これは公共事業としてはそんなに珍しくないキロ数なのです。ただ、鉄道でやると、やはり会社は大丈夫かとか、採算は大丈夫かと、すぐそういうことをご心配いただく。これも当然なのですが、ただ、これは非常に重要な公共交通ですので、一定程度市の負担はすべき事業だと。ただ、余り甘い考えでいるとよくありませんし、湊線も高校生が減っているので、定期券が若干減っているのです。28年度は減りました。そういうこともあって、もう安心していただけるような状況でもないのです。そういう意味で、緊張感のもとに進めていきたいと思っております。

なお、青年会議所等の3年ぐらい前の提案では、国営公園の先は東海村に持っていけとか、いろいろ提案もあるのですが。昔は昭和通りに新交通システムと、モノレールみたいなものですが、そういうものをつくって回ったらいいのではないかという提案もありましたが、まんざら非現実でもないのではないかと、どういうシステムであるかは別であります。そういう意味で循環できる、そういう仕組みをつくっていきたいと思っております。

そして、お客さんが増えたということでの先ほどのお話、公園のお話が出たわけでありますが、3,700人ですか、これちょっと想定を超えておりますよね。したがって、先ほど部長のほうからも答弁させていただきましたが、あの公園の整備についてもいろんな経緯があって、中は整備させていただいたり、またそういった、地元で本当に深くかかわってお客さんをもてなしていただいているということでありますが、警備や駐車場については、本当に不便を来さないように、基本的に市の公園でありますから、そういうことでしっかりと対応させていただきたいと思っております。

役所というのは、どうしても縦割りになってしまっていて、自分の部署で手に負えないと、できないと言ってしまったり、死んだふりする可能性もあるので、そういうことがないようにしていきたいと思っております。そのためにそういった横のつながりや、また地域の皆さんといろいろな情報交換させていただくことがそういうことを解決できる一つの大きなきっかけになると思っておりますので、今後ともよろしくご指導をいただきたいと思っております。

また、安心安全については、先ほど本郷川の足崎団地の自治会長からもお話がありましたが、本当にいろいろ目配りしながら、またいろいろ状況というのは変わりますので、刻々と雨の降り方とか、道路の整備の環境とか、いろんな環境が変わりますので、そういう環境に応じてしっかりと対応することを忘れずにやっていかなければいけないと思っておりますし、日頃のメンテナンスも非常に重要だということは言うまでもないと思っております。

以上、まとめにならないご挨拶になりましたが、今日は比較的時間が早く終わるのでもったいないかなと思っておりますが、本日言い足りなかったこととか、も

うちよつと整理してから言おうと思っておられることもあるのではないかと私は勝手に想像しておりますが、ぜひ今日に限らず、気がついた点がありましたら、それぞれの役所に行っていただき、またお呼びいただいて、十分意見交換や情報交換をさせていただきたいと思っております。

効率的な時間運営に感謝を申し上げますとともに、これからも市政のためにまたご助力、ご支援を賜りますようお願いをさせていただいて、ご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。